


令和3年度「高等学校 社会と情報」(社情 310) シラバス

校長印		教頭印		教科担当印	
-----	--	-----	--	-------	---

科目	社会と情報	単位	2	学年	1	全クラス
使用教科書	高等学校 社会と情報 (東京書籍)			島袋 敬太		

学習の到達目標	<p>(1)情報の収集・処理・発信などの情報活用能力を身につける。</p> <p>(2)みずから課題を見つけ、解決していく能力を身につける。</p> <p>(3)情報を主体的に活用し、情報社会に主体的に参加する態度を身につける。</p> <p>(4)コンピュータの特性や情報通信ネットワークのしくみなどの基礎知識を習得する。</p>
---------	--


評価の観点

a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 技能	d. 知識・理解
コンピュータや情報通信ネットワークなどに関心を持ち、身のまわりの問題解決を通して、情報を進んで活用しようとするとともに、情報社会に主体的に対応しようとする。	情報を収集・処理・発信する方法を工夫したり、結果をふまえて改善したりするとともに、情報モラルをふまえた適切な判断をする。	コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用するための基礎的な技能を習得し、目的に応じて情報を適切に収集・処理・発信するためにコンピュータなどを活用する。	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を身につけるとともに、情報社会における情報技術の役割や影響を理解している。

月	学習項目	時間配当	主な学習内容・活動	評価の観点
4	オリエンテーション	2	・コンピュータ室の使い方と授業の進め方を理解する。	・コンピュータ室利用のルールとマナーを理解している。【関・知】
	1章 1 私たちを取り巻く情報 ①情報とメディア (p8)	⑩ニュース番組を編成しよう (p126)	6 ・メディアの種類と特徴を理解する。 ・情報の信頼性について評価する。 ・メディアリテラシーについて	・メディアの種類と特徴を理解している。【知】 ・メディアからの情報を客観

月	学習項目	時間 配当	主な学習内容・活動	評価の観点
11 12	3章 1 情報化の影響と課題 ①誰でも表現者・発信者の時代 [p42] ②情報社会の影 [p44] ③情報セキュリティ [p46] ④情報モラル [p48] 2 法律と個人の責任 ①情報社会と著作権 [p52] ②個人情報の保護 [p56]	8	⑮パンフレットを作ろう [p114] ・情報犯罪や迷惑行為と安全対策について学ぶ。 ・情報社会における望ましい態度について学ぶ。 ・著作権と著作権法について学ぶ。 ・プライバシーと個人情報漏洩の対策について学ぶ。 ・情報モラルについてのパンフレットを作成する。	・情報犯罪の種類や安全対策を理解している。【知】 ・情報モラルを身につけている。【関・知】 ・著作権や著作権法を理解している。【知】 ・個人情報の正しい取り扱いを身につけている。【関・知】 ・パンフレットのテーマに沿った表現ができる。【思・技】
1	4章 1 社会における情報システム ①情報システムの種類 [p62] ②情報システムの発展と進歩 [p64] ③情報化と社会の変化 [p68] 2 情報システムと人間 ①情報システムの信頼性 [p70] ②誰もが参加できる情報社会 [p72]	6	⑯QRコードを作ろう [p138] ・情報システムの種類と特徴について学ぶ。 ・情報システムが利用されている事例について学ぶ。 ・情報技術による社会変革について学ぶ。 ・情報システムの問題点とその対策について学ぶ。 ・情報社会の問題点とユニバーサルデザインについて学ぶ。 ・実際にQRコードを作成してみる。	・情報システムの種類と特徴について理解している。【知】 ・情報システムの問題点とその対策について理解している。【知】 ・手順に従ってQRコードを作成できる。【技】
2 3	3 情報社会と問題解決 ①解決のステップ [p74] ②実際に解決してみよう [p76]	8	⑰身近な問題を解決しよう [p140] ・問題解決の手順と情報機器の活用例について学ぶ。 ・ブレインストーミングやKJ法を利用して、問題解決の演習に取り組む。	・問題解決の手順について理解している。【知】 ・意見を共有し、構造化することで、問題解決につなげることができる。【思】 ・情報社会の問題点に関心を持ち、解決策を提案することができる。【関・思】
総時間数		64		

令和3年度「高等学校 情報の科学」(情科 306) シラバス

校長印		教頭印		教科担当印	
-----	--	-----	--	-------	---

科目	社会と情報	単位	2	学年	2	2-1, 2, 3
使用教科書	高等学校 情報の科学 (東京書籍)		島袋 敬太			

学習の到達目標	<p>(1) 情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解する力を身につける。</p> <p>(2) 情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を修得する。</p> <p>(3) 情報社会の発展に主体的に寄与する態度を身につける。</p> <p>(4) コンピュータの特性や情報通信ネットワークのしくみなどの基礎知識を習得する。</p>
---------	---


評価の観点

a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 技能	d. 知識・理解
コンピュータや情報通信ネットワークなどに関心を持ち、身のまわりの問題解決を通して、情報を進んで活用しようとするとともに、情報社会に主体的に対応しようとする。	情報を収集・処理・発信する方法を工夫したり、結果をふまえて改善したりするとともに、情報モラルをふまえた適切な判断をする。	コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用するための基礎的な技能を習得し、目的に応じて情報を適切に収集・処理・発信するためにコンピュータなどを活用する。	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を身につけるとともに、情報社会における情報技術の役割や影響を理解している。

月	学習項目	時間配当	主な学習内容・活動	評価の観点
4	オリエンテーション ⑨災害時の帰宅モデルを考えよう (p118) 2章 問題解決とコンピュータの活用 1 基本的な考え方と手順 ①問題解決のプロセス (p50) ②情報の分析 (p52) ③解決方法の考案 (p54) ④解決方法の選択 (p56)	6	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータ室の使い方(ルール, マナー)や授業の進め方の説明を受ける。 災害時の帰宅経路マップを作成する。 問題解決のステップを学ぶ。 情報を分析する方法を学ぶ。 発想法について学ぶ。 PDCAサイクルについて学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ルール, マナーを理解している。【知】 積極的に問題解決に取り組もうとしている。【関】 問題解決のステップを理解している。【知】 情報を適切に分析することができる。【思】 発想法を積極的に活用することができる。【関・技】 PDCAサイクルについて理解している。【知】
5	3章 情報社会の科学的な理解 1 社会の情報化と人との関わり ①暮らしの中の情報化 (p76) 1章 コンピュータの仕組みと働き 2 情報通信ネットワーク ①情報通信ネットワークの構成 (p30)	6	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの進化と普及について学ぶ。 情報通信ネットワークについて学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 暮らしの中の情報機器について理解している。【知】 情報通信ネットワークの基本的な仕組みを理解している。【知】

月	学習項目	時間 配当	主な学習内容・活動	評価の観点
1	⑮文章を構造化しよう (p130) ⑯環境問題について発表しよう (p132) 1章 コンピュータの仕組みと働き 2 情報通信ネットワーク ②インターネットの利用 (p34)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・昔話を参考に文章の構造化を行う。 ・環境問題をテーマにプレゼンテーションを行う。 ・WWWについて学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構造を考えている。【思】 ・要点を簡潔にまとめたプレゼンテーションができる。【技】 ・HTMLの構造を理解している。【知】
2	⑰情報社会の未来を考えよう (p134) 3章 情報社会の科学的な理解 3 これからの社会と情報モラル ③社会の発展に向けて (p94) 1 社会の情報化と人との関わり ②社会の情報化と生活の変化 (p78) ③操作性の向上と情報技術 (p80) 2 情報社会の安全 ②安全を脅かす要因と対策 (p84) ④情報社会の安全とルール (p88)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを設定しグループでプレゼンテーションを行う。 ・情報社会の発展について学ぶ。 ・情報化が社会にどのような変化をもたらしているか学ぶ。 ・ユニバーサルデザインなど操作性の向上について学ぶ。 ・ネットワーク上の問題について学ぶ。 ・情報社会のマナーとルールについて学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にグループ学習に取り組もうとしている。【関】 ・情報社会の発展に積極的に寄与する態度を身につけている。【関・思・知】 ・情報化による社会の変化について理解している。【知】 ・よりよいユーザビリティについて考えている。【思】 ・個人情報流出による危険性について考えている。【思】 ・情報社会の安全と個人の役割について理解している。【知】
3	3 これからの社会と情報モラル ①新たなコミュニティ (p90) ②情報モラルとマナー (p92)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なコミュニケーションの特徴を学ぶ。 ・サイバー空間における人間関係について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいコミュニティにおける課題を理解している。【知】 ・権利の尊重や健康被害について考えている。【思】
総時間数		70		

令和3年度「高等学校 3年選択 情報と表現」シラバス

校長印		教頭印		教科担当印	
-----	--	-----	--	-------	---

科目	情報	単位	2	学年	3	選択クラス
使用教科書	なし				島袋 敬太	

学習の到達目標	(1) ソフトウェアの基礎的基本的操作を身につける。 (2) 情報を主体的に活用し、情報社会に主体的に参加する態度を身につける。 (3) 情報の収集・処理・発信などの情報活用能力を身につける。
---------	--

評価の観点			
a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 技能	d. 知識・理解
コンピュータに関心をもち、身のまわりの問題解決を通して、情報を進んで活用しようとするとともに、情報社会に主体的に対応しようとする。	情報を収集・処理・発信する方法を工夫したり、結果をふまえて改善したりするとともに、情報モラルをふまえた適切な判断をする。	コンピュータを活用するための基礎的な技能を習得し、目的に応じて情報を適切に収集・処理・発信するためにコンピュータなどを活用する。	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を身につけるとともに、情報社会における情報技術の役割や影響を理解している。

5段階評価においては以下の通り。

評価内容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの	80～100	5
十分満足できると判断されるもの	65～79	4
おおむね満足できると判断されるもの	50～64	3
努力を要すると判断されるもの	35～49	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	34以下	1

学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
概要とガイダンス コンピュータの基本操作	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルを身に付ける意義について学習する。 ・ホームポジション ・文字のレイアウト・変換モード・IMEパット 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・課題提出 ・キーボード入力
表計算検定4級	<ul style="list-style-type: none"> ・テンキーの使い方 ・セルの概念 ・4級レベルの数式 ・印刷の設定 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・課題提出 ・キーボード入力 ・定期考査
ワープロ検定4級	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書作成 ・全体レイアウト ・ワードプロセッサのいろいろな機能について、学習する。 ・コンピュータを活用した情報のあらしわりの基礎を理解する。 	○	○	○	○	